

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 まなびパークたじみ 4F TEL 0572- 23 - 3455 FAX 0572- 26 - 8813

指導日誌より

= 瑞浪地区 =

夏休みも明け、高校生の集団が増えてきた。駅前で電車待ちの子が多かった。(9/ 3瑞浪 A)

駅前で迎えを待っている高校生と話した。明るく応答してくれた。(9/ 10土岐 C)

朝、校門で声かけを行なった。体育祭前の応援練習などですでに多くの生徒が登校していた。校庭から大きな声が聞こえ、生徒たちの一生懸命さが伝わってきた。(9/ 10陶 E)

時間が遅かったためか、駅に高校生の姿はなかった。駐輪場入口に原付バイクの男性が「名いたが、時間後も移動する気配がなく、県外ナンバーだったので交番に連絡し巡回をお願いした。(9/ 18釜戸 G)

化石公園、陸上競技場横の駐車場に普通車と軽自動車と並んで止まっていた。2人連れの男女だったので、危険だから明るい所へ行くように指導すると、すぐに移動してくれた。(9/ 22日吉 J)

= 土岐地区 =

榎公園で 18時 20分頃、中学生 3名がボール遊びをしていた。暗くなってきていたので帰宅をするように声かけをすると、帰って行った。(9/ 3泉 9)

コンビニや公民館で情報交換をしました。特に問題は無いとのこと。(9/ 4駄知 6)

公園で遊んでいた小学生も、時間が 5時半になるときちんと帰って行く様子が見られた。あいさつすると、さわやかな声がたくさん返ってきた。夏休み中のことについて児童館などで交流できた。(9/ 10妻木 3)

体育祭が終わったばかりで疲れているのか、これまでよりあいさつの声小さく感じたが、自分から進んで明るく「さようなら。」とあいさつする子もいて気持ち良かった。点滅信号で止まらず、自転車のスピードを緩めず行ってしまおう子がいて心配です。(9/ 17鶴里 4)

児童センターの方と情報交換。センターはゲーム機持ち込み禁止なので、外の通路に広がってやっていることや、お菓子のゴミをそのままにしていくことがあるとのことだった。(9/ 18肥田 7)

公園で遊んでいた小さな子に声をかけようとしたら、保護者の方も一緒だったので安心しました。5時半になると日も傾き少し暗くなってきたので、気を付けなければと思いました。(9/ 26下石 2)

雨天だったが中学生の下校時に、あいさつや安全な自転車下校の声かけをした。(9/ 24曾木 5)

9 月 声かけ活動の結果

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	2	3	0	5
声かけ人数	517	104	261	882
指導員参加者	61	35	46	142

= 多治見地区 =

小泉公園で3人の中学生が駅伝の練習をしていた。さわやかであった。(9/9小泉5)

自転車や徒歩で下校途中の高校生に声かけすると、気持ちの良いあいさつや言葉が返ってきた。(9/9南姫9)

小学校の校庭に練習中の野球クラブの子がいた。子どもたちの方からとても元気な声であいさつしてきた。(9/13共栄3)

とてもさわやかなあいさつをする児童、生徒たちばかりでうれしかった。中学生は体育祭の後で、がんばった様子が見られた。公民館前は道が狭く、とても危険であり心配である。(9/18養正1)

根本交流センターで小学生、中学生に声かけした。低学年が多く、ちょうど保護者が迎えに来る時刻と重なり、見届けを行った。(9/18根本10)

小学生で自転車のノーヘルやキックスケーターでの横断歩道への飛び出しが見られたが、その場で指導が出来なかった。指導員の先生に学校での指導をお願いした。(9/18脇之島)

道路を広がって自転車移動していた小学生に

「自転車はどちら通行？」と声をかけると、「左側通行」と答えて直してくれた。(9/26池田6)

小学校の運動会の後だったため、グラウンドにたくさん子どもたちがいた。あいさつは皆元気が良かった。(9/27北栄1)

やってみなはれ

先日ノーベル物理学賞を受賞された赤崎勇さんが勤めていた松下電器時代、孤独な戦いを続ける中で、創業者の松下幸之助さんからもらった言葉である。

周りから変人扱いされても、誰かひとり自分を信じてくれる人がいれば、人間は信念を貫いていけるという幸運な例かもしれない。

この話から考えた。話を聞く前から大人を拒絶する子どもたちや引きこもる子どもたちも、誰かがそんな言葉をかけられればと。ただ、そこまでの人間関係をつくるのが難しい。

センターから

9/19の指導部役員会で次のような意見が出されました。

「校区を巡回していて地区の人から、不審者情報等について聞かれることがあります。巡回をしている私たちにそうした情報が入らないのはどうしたものか。情報が入れば巡回時にルートを変えたりして、自分たちの活動に活かせることもあると思う。」

この意見を伺い、センターとしてこの問題の現状を調べ、以下のように提案をさせていただきます。子どもたちに対する危険情報や不審者情報は、県や市から各小中学校・高等学校へ緊急連絡されており、最初に先生やPTAの方々を知ることになります。校区別に構成されている各班には必ず先生またはPTAの方がおられます。そこで、その方たちから班のメンバーに伝えていただく形で「情報共有」をお願いしたいと考えています。先生方、PTAの方々にはそうした情報が入ったら、次の活動日には班の方々への情報伝達をお願いします。連絡網を作っていただくのも良いかも知れません。

情報共有は大切です。既に多くの班で実施されていることですが、公民館や交番、児童館、コンビニスーパー等の店舗の皆さんとも、「変わりありませんか？」等と情報交換を行っていただくと良いと思います。地域の皆さんのご協力を得て、子どもたちの見守りや支援に繋がればうれしいことです。

多治見市に続き、瑞浪市土岐市の各高等学校にお願いして、高校生による啓発活動を実施することになりました。センターとしては、若者から若者への呼びかけがお互いに良い影響を与え合うことを期待しています。

お知らせ 多治見13班(笠原)の11月の声かけ予定日は11/5から11/28(金)に変更されました。